

「わが国の国際貿易に隠れたマテリアルフローと環境負荷に関するワークショップ」のご案内

期日:平成 18 年 2 月 27 日(月)

主催:独立行政法人 国立環境研究所

協力:日本 LCA 学会

開催趣旨:

今日のわが国の生産消費活動は、大量の物質の投入と経済社会におけるその代謝によって支えられています。一国内の物質代謝の様を定量的に把握する手法の一つとして、物質フロー分析が国内外で注目を集めています。しかし、資源の多くを輸入に頼るわが国の場合、それが国内へ投入された時には既に、資源を輸出した国で資源消費や環境負荷を引き起こしています。こうした国際貿易に伴う、言わば“隠れた”物質フローや環境負荷の発生を十分に理解し、現在の大量生産、大量消費、大量廃棄の社会システムを見直すことは、今後、わが国が持続可能な生産・消費形態へと転換していく上で大変重要です。

そこで、本ワークショップでは、わが国への資源の輸出国で活躍する、物質フロー分析や環境負荷を測る LCA やエコロジカルフットプリントの専門家を招いて、最新の研究動向を報告していただきます。また、地球環境研究総合推進費で実施されている「物質フローモデルに基づく持続可能な生産・消費の達成度評価手法に関する研究(代表者:森口祐一)」の概要と中間成果の報告を行います。国内外の研究者の講演を通じて、“隠れた”物質フローや環境負荷を“発見し”、こうした問題に関する研究の展望や問題点、国際的な協力のあり方などを議論するため、本ワークショップを企画しました。

テーマ:

わが国の国際貿易に隠れた物質フローと環境負荷を知る:資源輸出国の最新研究報告

会場と定員:

秋葉原コンベンションホール(定員 280 名)

参加費:

無料

使用言語:

英語を基本としますが、日英の同時通訳が付きます。

申し込み先:

会場定員に限りがありますので、下記 web サイトより参加申込みをお願いします。

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

<https://www.sntt.or.jp/nies/start-nies.html>

参加者情報を送信されますと、お知らせいただいた e-mail アドレス宛に申込情報確認のメールが返信されます。メールアドレスに誤記のある場合、メールが到着いたしませんのでご注意ください。

お申込みに関してご質問がある場合は、下記宛ご連絡願います。

(社)未踏科学技術協会 担当:末次若子 Tel; 03- 3503-4681

講演プログラム

(題目は一部変更になることもあります)

受付開始 9:10

開会挨拶と趣旨説明:9:30 9:45(15分)

招待講演 1:9:45 10:35(講演 40分、質疑 10分)

『Challenges in assessing the environmental impacts of the development of natural resources』

講演者:Dr. Alain Dubreuil
(Natural Resources Canada、Canada)

招待講演 2:10:35 11:25(講演 40分、質疑 10分)

『Issues on Brazilian iron mining sector: resources、 production、 national and international logistic、 economic and environmental impacts』

講演者:Prof. Armando Caldeira-Pires
(University of Brasilia、 Brazil)

招待講演 3:11:25 12:15(講演 40分、質疑 10分)

『Triple-Bottom-Line accounting - a new software with a case study of Australian mining』

講演者:Dr. Manfred Lenzen
(University of Sydney、 Australia)

----- 昼食休憩:12:15 13:15(60分) -----

招待講演 4:13:15 14:05(講演 40分、質疑 10分)

『Ecological budget UK: a comprehensive regional material flow and ecological footprint account、 including embedded emissions』

講演者:Dr. Thomas Wiedmann
(University of York、 UK)

講演 5:14:05 15:15(講演 20、 20、 20分、 質疑 10分)

『地球環境研究総合推進費(H-9)による「物質フローモデルに基づく持続可能な生産・消費の達成度評価手法に関する研究」の概要と報告』

研究全体と各サブテーマの説明

講演者:森口祐一(国立環境研究所)

研究報告 1:隠れた物質フローの算定に関する研究

講演者:原田幸明(物質・材料研究機構)

研究報告 2:物質フローの国際連関と国際比較分析に関する研究

講演者:井村秀文(名古屋大学)

----- 休憩:15:15 15:30(15分) -----

パネルディスカッション:15:30 16:50(80分)

テーマ:『国際貿易に伴う環境負荷の空間移転について～輸入国と輸出国の視点から～』

司会:森口祐一

パネリスト:Dr. Alain Dubreuil、 Prof. Armando Caldeira-Pires、 Dr. Manfred Lenzen、 Dr. Thomas Wiedmann、 原田幸明、 井村秀文、 寺園 淳(国立環境研究所)

閉会挨拶:16:50 16:55(5分)

閉会:16:55

